

恵庭市公営企業経営審議会 次第

平成29年度 第1回

日時 平成29年7月11日(火) 10時00分～

場所 恵庭市役所 3階 第1委員会室

開会

1. 委嘱状交付

2. 市長挨拶

3. 自己紹介

4. 会長・副会長互選

・会長挨拶

・副会長挨拶

5. 諮問

6. 報告

(1) 水道事業概要について

(2) 下水道事業概要について

(3) 地方公営企業について

(4) 上下水道事業の経営状況について

7. 議事

(1) 恵庭市下水道事業経営戦略策定の進め方について

□「恵庭市公共下水道事業維持・整備方針」について

8. 今後の経営審議会スケジュールについて

9. その他

閉会

地方公営企業について

1. 地方公営企業

地方公営企業とは、地方公共団体が特別会計を設けて行う事務の一部とされ、地方公共団体が経営する「企業」と位置付けられています。業務においても地方公営企業法という特例法により、地方公営企業における業務全般の権限を有し、自らの判断と責任において事業体の運営ができ、企業としての独立性が確保されています。そのため、経営はその事業において得られる収入をもって経営を行うこととされ、「独立採算制」を基本とする企業とされています。

■ 地方公共団体の会計

地方公共団体	区分	種類		会計名
	一般会計	普通会計		一般会計
特別会計	公営事業会計			土地区画整理、土地取得、産業廃棄物処理、墓園事業等の特別会計
				国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険医療の特別会計
	公営企業会計	法非適用		駐車場事業特別会計
		法適用		水道事業会計
				下水道事業会計

2. 経理方式の違い

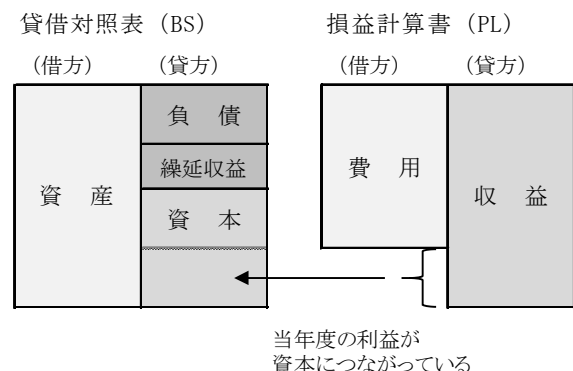
官公庁会計（一般会計等）は現金の収入・支出を管理する会計（単式簿記）に対して、公営企業会計は現金の収支にかかわらず、経済活動の発生時点から会計する複式簿記を採用しており、収益管理や資産管理に適した会計で、一般的な企業と同じ経理方式を用いています。これにより企業としての経済性を発揮することができ、財政状況を明確にすることができます。

■ 主な違い

	一般会計	企業会計
会計方式	単式簿記 (現金の収入・支出を管理)	複式簿記 (資産・負債の増減、収益・費用の発生を管理)
経理認識	現金主義 (現金の発生時点で記帳)	発生主義 (認識した時点で記帳)
予算区分	歳入歳出	収益的収支・資本的収支 (損益と資本取引)
資産把握	財産台帳	資産管理・減価償却管理
会計期間	4/1～翌年5/31	4/1～3/31

3. 複式簿記

財務諸表には貸借対照表があり、その時点（決算は 3/31 現在）の資産・現金や借入による負債・資本などの残高を表したものとなります。また損益計算書は、今年度に発生した収益と費用を計上して損益を表すもので、どちらも税抜きの表示となっています。



水道事業の経営状況について

1. 水道料金

現行水道料金は、平成 12 年 4 月 1 日に 8.6%増額改定し、現在まで 17 年間現料金体系で継続しておりますが、平成 17 年 10 月には、メーター使用料（250 円/月）を廃止し、約 6.7%相当（市内家事用平均使用水量 15 m³/月）の料金負担が軽減されております。また、平成 26 年 4 月より、消費税の段階的増税への対応として外税方式へと変更しておりますが、実質的な料金（税抜き）は変更せず現在に至っております。

2. 水道事業の状況

平成 27 年 4 月より千歳川浄水場からの受水を開始し、恵庭市の水道水は全て石狩東部広域水道企業団（漁川浄水場・千歳川浄水場）からの受水となりました。これにより、水源や浄水及び送水施設の 2 系統化が図られ、地震・濁水などの災害時や水質事故などの非常時にも必要な水が確保できる体制が整いました。

会計処理では、恵庭浄水場は平成 27 年 3 月 31 日をもって廃止するため、固定資産の減損処理（H26）、借入していた企業債の返済による繰上償還補償金支払い（H27）、恵庭浄水場の機械・電気設備撤去工事の実施（H27～H28）を行いました。建物については有効利用のため一般会計に譲渡することで、その活用と今後の維持管理費の節減を図りました。

また、石狩東部広域水道企業団からの受水料金単価は水系ごとに定められておりますが、平成 27 年度には、漁川水系の料金単価が増額改定され、また千歳川水系からの受水開始に伴う基本料金が発生したこと等により、受水費の負担が大幅に増加しました。そのため、平成 29 年度予算では各水系の受水量のバランスを見直して受水費の圧縮を図っています。

これらにより、水道事業の利益は平成 27～28 年度は赤字となったものの、平成 29 年度は黒字化を見込んでおります。

（単位：千円、税抜）

損益計算書	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	割合(%)
	決算	決算	決算(見込み)	予算	
営業収益	1,421,528	1,440,663	1,632,779	1,456,114	-
給水収益	1,332,347	1,335,726	1,354,241	1,351,647	92.8
営業費用	1,079,398	1,375,770	1,571,167	1,429,430	-
受水費	378,849	741,071	739,358	728,376	51.0
減価償却費等	331,565	322,738	334,946	356,872	49.0
営業利益	342,130	64,893	61,612	26,684	-
営業外収益	68,370	61,845	60,117	108,664	-
長期前受金戻入	63,134	56,415	56,653	64,675	59.5
営業外費用	80,624	62,780	47,365	45,872	-
経常利益	329,876	63,958	74,364	89,476	-
特別利益	28,282	0	0	0	-
特別損失	286,102	137,592	75,926	1,000	-
当年度純利益	72,056	△ 73,634	△ 1,562	88,476	-

3. 施設整備の状況

水道管布設やメーター交換を行う建設改良費は、毎年安定して 4 億円程度の整備を行っておりますが、平成 28 年度は、水道庁舎の老朽化対策やバリアフリー化対応、市本庁舎の狭隘化対策として、水道事業会計・下水道事業会計・一般会計の 3 つの会計で恵庭市第 2 庁

舎を建設し、平成 29 年度は旧水道庁舎の大規模改修工事があるため、建設改良費が増加しております。

(単位:千円、税込)

資本的収支	H26年度 決算	H27年度 決算	H28年度 決算(見込み)	H29年度 予算	割合(%)
資本的収入	7,686	288,931	273,205	301,996	-
企業債	0	260,600	150,000	273,300	90.5
出資債	0	17,000	12,900	26,900	8.9
負担金	7,686	11,331	110,305	1,796	0.6
資本的支出	646,304	1,345,742	725,469	713,407	-
建設改良費	444,067	441,651	572,595	553,240	77.5
企業債償還金	202,237	904,091	152,874	158,167	22.2

H29.3.31時点(見込み)

(単位:千円、税抜)

貸借対照表 (借方)			貸借対照表 (貸方)		
	H28年度	割合(%)		H28年度	割合(%)
有形固定資産	8,220,087	85.4	固定負債	1,780,996	18.5
無形固定資産	52,050	0.5	企業債	1,578,413	16.4
破産更生債権等	12,505	0.1	修繕引当金	202,583	2.1
貸倒引当金	△ 12,505	△ 0.1	流動負債	679,197	7.1
固定資産	8,272,137	85.9	うち、企業債	158,166	1.6
現金預金	1,056,478	11.0	繰延収益	1,474,353	15.3
未収金	296,765	3.1	負債	3,934,546	40.9
貸倒引当金	△ 3,052	△ 0.0	資本金	3,937,628	40.9
貯蔵品	6,021	0.1	資本剰余金	618,557	6.4
その他流動資産	1,000	0.0	利益剰余金	1,138,618	11.8
流動資産	1,357,212	14.1	資本	5,694,803	59.1
資産合計	9,629,349	100.0	負債・資本合計	9,629,349	100.0

4. 今後の経営状況

主な収入である水道料金の収益は、現在まで宅地開発等により微増となっておりますが、今後は節水意識・技術の向上や人口減少もあり、ゆるやかに減少していくものと思われます。受水料金単価の改定や管路の老朽化による維持管理費・更新経費の増加などにより経費の増加が見込まれているため、経営状況は厳しいものとなりますが、今後も水需要の変化や社会情勢などさまざまな要素を的確に捉え、より一層の経営の効率化・経費削減に努める事業運営を図っていきます。

下水道事業の経営状況について

1. 下水道使用料

現行下水道使用料は、平成9年、平成12年、平成20年の段階的な増額改定や国の繰出し基準の明確化により収益を確保しており、概ね安定的に運営できております。また、平成26年4月より、消費税の段階的増税への対応として外税方式へと変更しておりますが、実質的な料金（税抜き）は変更せず現在に至っております。

2. 下水道事業の状況

下水道事業は、資産や負債を含めた財務状況や事業の運営状況、資産・財産管理をより適正に行うため、平成25年度から地方公営企業法を全部適用し、公営企業会計を導入しました。『雨水公費・汚水私費』の原則のもと、雨水処理に係る経費は繰入基準および要綱に基づき一般会計繰入金（雨水処理負担金）で賄っておりますが、汚水処理においては維持管理や資本費（工事や起債償還金等）を下水道使用料で賄うこととされています。下水道使用料は僅かに増加しており安定的な収入となっておりますが、終末処理場の大型修繕や設備更新などがあるため、平成27～28年度は平成26年度利益より減少しています。

平成29年度は、災害に強いライフラインを目指して、平成32年度までの4年間で管渠耐震診断、平成30年度までの2年間で処理場耐震診断を行う予定です。また、第2庁舎（増築部分）の完成、料金・財務システムの更新に伴う負担が総係費で増加しております。このことにより平成29年度は例年と比較し利益が減少しております。

（単位：千円、税抜）

損益計算書	H26年度 決算	H27年度 決算	H28年度 決算（見込み）	H29年度 予算	
					割合(%)
営業収益	1,588,201	1,577,854	1,591,839	1,600,667	-
下水道使用料	1,005,306	1,012,803	1,017,983	1,016,386	63.5
雨水処理負担金	500,035	504,687	515,998	517,826	32.4
営業費用	2,330,063	2,341,467	2,366,404	2,437,526	-
処理場費	383,054	414,211	409,876	494,631	20.3
総係費	62,262	55,970	79,525	95,126	3.9
減価償却費等	1,628,357	1,578,465	1,565,311	1,562,066	64.1
資産減耗費	11,027	66,683	83,940	4,589	0.2
営業利益	△ 741,862	△ 763,613	△ 774,565	△ 836,859	-
営業外収益	1,298,692	1,257,557	1,262,604	1,231,669	-
他会計補助金・負担金	369,088	351,051	362,604	353,276	28.7
長期前受金戻入	922,722	887,631	894,585	844,404	68.6
営業外費用	309,430	290,311	258,815	244,646	-
経常利益	247,400	203,633	229,224	150,164	-
特別利益	4,541	1,590	0	10	-
特別損失	443	2,654	199	1,010	-
当年度純利益	251,498	202,569	229,025	149,164	-

3. 施設整備の状況

施設整備については、長寿命化計画に基づく事業で、平成20年度から制度化された「下水道長寿命化支援制度」を活用し、補助金（社会資本整備総合交付金）を充当して事業を実施しています。老朽化した下水道施設を調査・診断の上、計画的に改築・更新を行うもの

で、処理場は平成 24 年度から、管渠については平成 27 年度から実施しております。また、処理場はごみ焼却施設と連携した資源有効利用の取り組み（排熱利用設備整備事業）を推進しています。

次に分流化事業です。河川環境の悪化や処理場の負荷を解消するため、污水管を新設し既存の合流管を雨水管にする「分流化」を、平成 25 年度から実施しております。

これらの事業のほか、平成 26 年度からの終末処理場の機械設備工事や平成 28 年度の第 2 庁舎建設に伴う負担金の増により、建設改良費が大きく増減しております。

(単位:千円、税込)

資本的収支	H26年度 決算	H27年度 決算	H28年度 決算(見込み)	H29年度 予算	割合(%)
資本的収入	1,161,324	863,378	896,643	749,992	-
企業債	568,100	477,900	512,700	463,700	61.8
補助金	443,167	260,610	249,980	152,500	20.3
出資債	143,583	121,373	128,726	130,152	17.4
資本的支出	2,179,235	1,911,205	2,007,416	1,726,373	-
建設改良費	1,044,675	745,202	850,638	602,954	34.9
企業債償還金	1,134,430	1,165,345	1,156,616	1,118,351	64.8

H29.3.31時点(見込み)

(単位:千円、税抜)

貸借対照表 (借方)			貸借対照表 (貸方)		
	H28年度	割合(%)		H28年度	割合(%)
有形固定資産	33,805,022	94.2	固定負債	13,979,015	39.0
無形固定資産	99,168	0.3	うち、企業債	13,979,015	39.0
破産更生債権等	7,714	0.0	流動負債	1,284,853	3.6
貸倒引当金	△ 7,714	△ 0.0	うち、企業債	1,122,763	3.1
長期前払消費税等	85,860	0.2	繰延収益	17,435,369	48.6
固定資産	33,990,050	94.7	負債	32,699,237	91.1
現金預金	1,733,617	4.8	資本金	2,536,718	7.1
未収金	162,558	0.5	資本剰余金	216,874	0.6
貸倒引当金	△ 1,802	△ 0.0	利益剰余金	431,594	1.2
流動資産	1,894,373	5.3	資本	3,185,186	8.9
資産合計	35,884,423	100.0	負債・資本合計	35,884,423	100.0

4. 今後の経営状況

主な収入である下水道使用料の収益は、現在まで宅地開発等により微増となっており、地下水利用者や企業においても安定的に下水道使用料の収益としておりましたが、今後は節水意識・技術の向上や人口減少もあり、ゆるやかに減少していくものと思われま。また、下水道施設は老朽化対策や災害対策が求められており、経営の安定と効率化が重要となっております。このことから、資産や今後必要とされる整備・事業量の調査を行い、事業運営に必要な将来の設備投資を明確にし、将来にわたり安定的な経営を図るため、今年度下水道事業経営戦略を策定します。この計画を基にした、より一層の経営の効率化・経費削減に努める事業運営を図っていきます。

恵庭市下水道事業経営戦略策定の進め方について

恵庭市下水道事業経営戦略の策定準備として、平成28年度に「恵庭市公共下水道事業維持・整備方針」を策定し、下水道事業の投資計画を整理しました。

平成29年度につきましては、まず始めに将来予測のもと財政計画（見込み）を作成し、投資計画と合わせて財源の過不足を確認します。その結果、財源が不足する場合には、投資の平準化や優先順位付け等により必要な投資が実施できるように、審議会でのご意見を踏まえながら工夫して計画を策定していく予定です。

記

□第1回審議会（7/11）では、経営戦略策定の進め方及び下水道事業の投資計画についてご説明します。

□第2回審議会（8～9月頃予定）では、財源の過不足を確認した結果を報告するとともに財源が不足する場合には、対応方法について事務局案をご説明したうえでご審議していただきます。

□第3回審議会（11月頃予定）では、第2回審議会でのご意見を反映して経営戦略（案）を策定し、全体についてご審議していただきます。

□第4回審議会（12月頃予定）では、第3回審議会でのご意見を反映して経営戦略（案）を修正し、全体について最終確認をしていただきます。

経営審議会スケジュール（予定）

日時	回数	検 討 事 項
7/11	1	<input type="checkbox"/> 委嘱状交付 <input type="checkbox"/> 会長、副会長互選 <input type="checkbox"/> 諮問（恵庭市下水道事業経営戦略の策定について） <input type="checkbox"/> 報告 ～ 上下水道事業概要について、地方公営企業について <p style="text-align: center;">上下水道事業の経営状況について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 議事 下水道経営戦略（1回目） <p style="text-align: center;">「恵庭市下水道事業経営戦略策定の進め方について」</p> <input type="checkbox"/> 「恵庭市公共下水道事業維持・整備方針」について <input type="checkbox"/> 今後の経営審議会スケジュールについて
8～9月頃	2	<input type="checkbox"/> 施設見学（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 下水道経営戦略（2回目）
11月頃	3	<input type="checkbox"/> H28年度決算報告（予定） <input type="checkbox"/> 水道事業経営戦略の進捗状況について（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 下水道経営戦略（3回目）
12月頃	4	<input type="checkbox"/> H30年度事業予定について（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 下水道経営戦略（4回目）
	会長 副会長	<input checked="" type="checkbox"/> 答申（下水道事業経営戦略の策定）